本事業は杉並区教育委員会とNPO法人すぎなみ子どもサポートの協働事業です。

2024年度

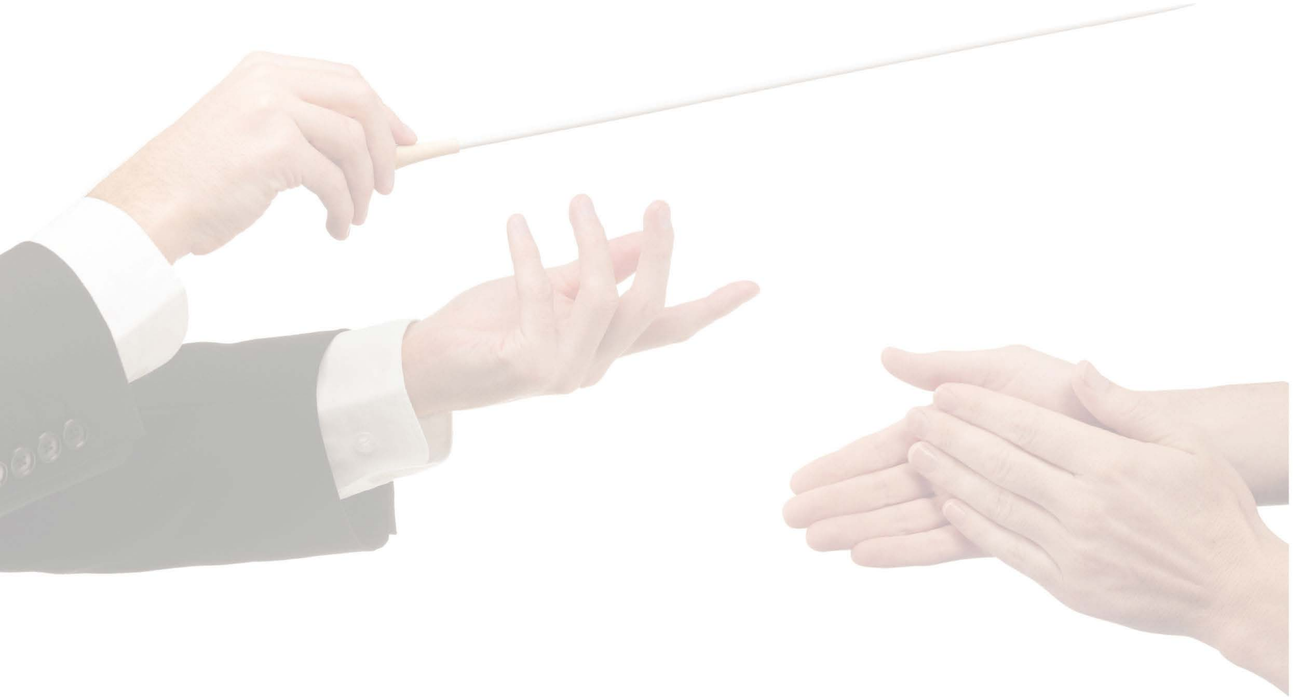
プロに学ぶ

吹奏楽

ワークショップ

実施報告書

NPO 法人すぎなみ子どもサポート



※　このワークショップについて

参加資格は区内在住、あるいは在校中学生及び当ワークショップ参加経験のある高校生です。
このワークショップ受講生全員で編成する楽団名が「杉並ユースウインドオーケストラ」です。

※　NPO法人「すぎなみ子どもサポート」について

NPO法人すぎなみ子どもサポートは、創立６周年を迎えました。
多くの支援者や寄付、地域ボランティアの皆様に支えられながら、「子ども食堂」「中学生向け無料塾」「プロが教えるバレーボール」
そしてこの吹奏楽ワークショップ等々、ささやかな志を持って各種イベントの企画・運営を行っています。

開催概要

主催／協力

主催	NPO法人「すぎなみ子どもサポート」及び杉並区教育委員会
協力	公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 高円寺学園 天沼中学校 2023、2024年度は杉並区協働提案事業として実施

春のワークショップ

日程	4月2日（火）10:00～16:00　パート別基礎練習
参加者	18校61名
指導者	日本フィルハーモニー交響楽団をはじめとするプロ奏者15名
スタッフ	9名、リペアラー1名
練習会場	天沼中学校・旧若杉小学校

夏～秋のワークショップ

日程	第1回　8月20日（火）　13:30～16:30　パート練習 第2回　9月16日（祝）　10:00～12:00　パート練習 第3回　9月16日（祝）　13:00～16:00　合奏練習 第4回　10月6日（日）　13:30～16:30　パート練習 第5回　10月20日（日）　10:00～12:00　パート練習 第6回　10月20日（日）　13:00～16:00　合奏練習 第7回　11月4日（振休）　13:30～16:30　合奏練習 第8回　11月9日（土）　13:30～16:30　合奏練習
参加者	22校67名
指導者	音楽監督福田洋介さん及び日本フィルハーモニー交響楽団をはじめとするプロ奏者のべ132名
スタッフ	のべ108名
リペアラー	のべ4名
見学保護者	2回 16名
見学教員	のべ12名
区職員	のべ32名
練習会場	高円寺学園（第１回～第７回）　堀之内学園東京立正講堂（第８回）

荻窪音楽祭

日程	11月10日（日）9:30～12:00　リハーサル
発表	11月10日（日）13:30～15:00　杉並公会堂大ホール
参加者	62名
指導者	18名
スタッフ	15名
演奏曲	「美中の美」「吹奏楽のための民話」「サウンドオブミュージックより」 南相馬市立原町第一中学校との合同演奏「響きの街へ」「組曲惑星より木星（抜粋）」

冬のワークショップ

日程	12月22日（日）　10:00～16:00　パート別基礎練習
参加者	16校48名
指導者	日本フィルハーモニー交響楽団をはじめとするプロ奏者15名
スタッフ	14名
見学教員	2名
見学保護者	8名
練習会場	高円寺学園

私たちが目指すもの

ワークショップの意図

　楽器を手にして間もない中学生が、これから長く、世代を超えて皆で楽器演奏を楽しめ、ここ杉並の「地域の文化的な機会」となって行くことを目指しています。ですから、中学を卒業して高校生・大学生になっても引続き参加して頂くことを歓迎しています。
　また、このワークショップはNPOや教育委員会だけでなく、多くの地域ボランティアに支えられています。この音楽を通じての広がりが、コミュニティの活性化に繋がることも期待しています。

ワークショップの内容

　「練習」が第一の目的です。基礎をしっかり身に着けることこそが、先々色々な曲を自由自在に演奏し、表現できるようになる近道です。
　ここは高度なことをやる場ではなく、生徒3～４人に1人のプロ奏者が付き添い、正しい楽器の扱い方や姿勢、呼吸法、ウォーミングアップなどの基礎を学ぶところから始めます。これは楽器毎の専門家がいる訳ではない学校部活動のお手伝いにもなるものと考えています。
　ただ、練習の為の練習では生徒にとって張り合いがありません。そこで練習の励み（目標）として、毎年杉並公会堂で行われる「荻窪音楽祭」のステージでコンサートを行うことにしています。「合理的な練習方法を身に着け」その上で「大編成での合奏の醍醐味を味わう」プロジェクトです。

優れた指導者

　演奏家として優れているだけでなく、個々の生徒の目線でアドバイスを行い、継続して指導できる方にお願いしています。独自の練習材料を作るなど、献身的に取組んで頂いています。
　最後の音楽祭のステージでは一緒に並んで演奏し、生徒にとって大切な思い出になりました。音楽監督は杉並育ちの作編曲家・指揮者の福田洋介さん。その作品「響きの街へ」を作曲者自身の指揮で練習・演奏できるのも生徒にとって貴重な体験です。
　練習は春のワークショップが２コマ、夏～秋は８コマ（＋荻窪音楽祭での演奏）、冬は２コマの計１２コマでしたが、プロが教える合計３２時間という練習時間は決して少なくありません。ツボを押さえた練習でみんな目に見えて上達しました。

誰でも参加

　入口は、公立・私立を問わず区内在住または在校の中学生が参加対象です。そして参加した中学生は高校生になっても参加できます。
　定員は設けていません。楽譜が読め、正しく音階が吹け、上達意欲がある生徒は誰でも参加できます。学校にあまり行っていない生徒も参加しています。
　参加費は1回あたり千円以下。費用の大半は、公費と賛同する個人からNPOへの寄付で賄っています。

伝承の再構築

　近年、区立中学校では3年生が早々に「引退」する慣習が有り、吹奏楽部員減少と相まって先輩が後輩を指導するという「伝承」は途切れがちです。しかしここでは私立中学生が3年生になっても参加しています。また、中学生時代から継続参加の高校生が経験に基づくアドバイスをするなど、後輩のサポートをしています。いわばここは中高一貫で、新たな「伝承」が生まれつつあります。

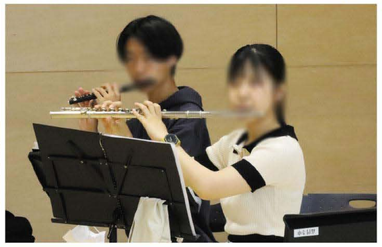
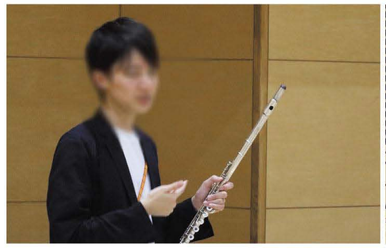
新たに

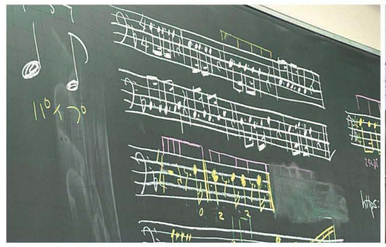
1 保護者見学会・意見交換会を開催しました。理解を頂きお知恵を拝借する為に。
2 小学生見学会を開催、今後広げていきます。音楽好きの裾野を広げる為に。
3 パートリーダー、参加高校生ボランティア（受付等）を導入しました。生徒の自主自立を目指して。

　このプロジェクトを続けて欲しいとの要請がたくさん来ています。ボランティア・指導者・保護者・学校・行政・NPOなど関係者みんなで一歩ずつ前に出て壁を越え、この新しい形の音楽活動「プロに学ぶ吹奏楽ワークショップ」が地域に根付くよう努めて参ります。

NPO法人すぎなみ子どもサポート
代表　鈴木祐二

夏～秋のワークショップ



夏～秋のワークショップ

春と冬のワークショップ

荻窪音楽祭

荻窪音楽祭 ～演奏を終えて

保護者の声

Sさん
　他校の生徒と共にプロの先生に学び、話す機会を子どもはとても楽しんでいました。部活動では個別の楽器を教えて貰える先生がいる訳では無く「ずっと上手くできなかった所をどう練習すればよいか聞いてきたよ」と話したり、「この曲はここがかっこいいんだ」「指揮の先生もすごいんだ」と毎回刺激を受けていたようです。来年は受験生だけれど参加したいと言っています。荻窪音楽祭のステージを拝見し、皆が一所懸命練習し、こうして演奏している姿に感動しましたし、音楽の楽しさを改めて感じられている息子にも成長を感じました。

Gさん
　保護者見学会に参加して、音楽と向き合うことは人と向き合う事にも繋がっていると感じました。指揮の福田先生から伝えられる音のイメージをどう受止め、どう表現するか、何度もキャッチボールを繰り返す様子を拝見していて「聴く力」と「表現する力」のどちらも子ども達の身に付いてきているように思いました。時として音楽を通してのコミュニケーションは言語以上のものを聴き手に与えますね。娘は3年生で部活を引退した形ですが、音楽祭での演奏に向けて「ちょっとでも練習したい」と部活動にも出ていました。これまでには見られなかった姿です。

Iさん
　大変素晴らしい経験をさせて頂いたと思っています。合奏練習が始まったとたん「音がすごいの！一回聴いてみて欲しいくらい」といつもクールな娘が珍しく帰宅早々興奮気味に話してくれ、何かが変わったのを感じました。試験前の厳しい日程になっても予定をしっかり立て、一度も休まず通い切りました。音楽祭の日も「すごかった」「楽しかった」と言いながら帰って来ました。これだけのことを実現するにはどれほどのご苦労がおありだったかと思いますが、長くこの活動が続きますことを切に願っています。

Nさん
　学校に吹奏楽部が無く個人で習っていました。最初は他の学校の方々と一緒に練習することに戸惑いがあったようでしたが、始まってみると「お友達ができた」など、帰ってから楽しそうに話すことが沢山ありました。確実に上手になって行くのも解りましたし、杉並公会堂での発表の演奏は本当に素晴らしく、感動しました。本人も「練習は大変だったけれど、大勢でのステージが楽しかった」とやり遂げた様子でした。熱心に指導をして下さったプロの先生方、そしてこんな素晴らしい経験を若い内に味わえる企画をして下さったNPO法人すぎなみ子どもサポートの皆さん、ボランティアの皆さんに心から感謝致します。

Mさん
　中3であり、期末試験2日前が発表の舞台というタイミングに親としては参加をためらいました。でも昨年参加し、有意義な時間を過ごせた息子には参加することに１ミリの迷いも無かったようです。ワークショップの日を毎回心待ちにし、気分転換を兼ねて全力で取り組めたと思います。
　高校生になっても参加したいとのこと。この素敵な企画が続けられることを願っています。

Iさん
　他校の方やプロの先生と接することで新しい刺激をもらい、学校、家庭以外の第三の居場所があるという事を実感したことも良い経験となりました。終わってからも親子共々YouTubeで何度も見て、気が付けば鼻歌で歌っている毎日です。

参加生徒の声

Yさん（中1）
　先生は一人一人の音を聴いて個別にアドバイスをして下さいました。学校の部活動では自分のパートに先輩がいないので、呼吸・姿勢や楽器の持ち方から、他の人の音をよく聴くことまで初めて学ぶ事がいっぱいありました。先生に褒めて貰ったことはちょっぴり自信にもなりました。午前午後通しの練習でも時間が短く感じるくらいでしたし、昼食の時間も含めて他校の同じパートの人と交流でき嬉しかったです。これからも参加して部活動にも活かそうと思います。

Oさん（中2）
　プロに教えて貰い、楽器のことや曲のことも沢山質問できました。荻窪音楽祭でプロの音を間近で聴きながら一緒に演奏できたこともすごい経験で、こういう音を出したいと強く思うようになりました。
　福島県から来た原町一中と音楽祭の前日から合同練習をし、ステージでは心を一つにして良い演奏をお客様に届けられました。最後の120人での演奏は本当に楽しかった。

Uさん（中2）
　杉並区中の中学生が楽器という共通点だけで集まって一つの合奏を出来ることがこんなにすごいものだとは思いませんでした。上級生の方々の音色を聴いて、部活動だけでは学びきれない経験になりました。ネットや本では分からないコツやノウハウをプロの先生から間近で見て聴いて学べ、自分でも参加前よりぐっと伸びたと感じています。

Tさん（中3）
　楽器の仕組みや音の出し方や、替指など今迄知らなかった技法も細かく教えて貰って、苦手だった音が出来るようになって嬉しかったです。同じ方向を向いている仲間が沢山いるから心強いし、大人数で合わせると迫力がすごくて楽しく演奏出来ました。

Hさん（中3）
　去年のワークショップで教えて貰ったことを思い出しながら練習して来て、2年目の今年は難しいパッセージを速く吹けるようになり、音一つ一つも丁寧に出せて、実力が付いたなと実感することが出来ました。来年高校1年生になっても絶対に参加したいです。

Wさん（高2）
　中1からコロナ禍に見舞われ、部活動も思うように出来ず、基礎も全く身に着けられないまま時が過ぎていました。そんな私にとって先生の親身の指導、そして身近にプロの音を聴きながら学べるこのワークショップは貴重な機会でした。NPOの方々のこの企画は私自身の糧となり、楽器がもっと好きになれる、そんな時間でした。後輩へのアドバイスや運営のお手伝いなどを通じて演奏以外で得たものもとても多くありました。このような機会を頂けたことに感謝しています。

Iさん（高2）
　中2で初参加して4年、中学に吹奏楽部が無かったのでこのワークショップが自分の吹奏楽人生の原点です。プロ奏者に直接学べ、普段関わることの無い様々な人と一緒に、基礎練習から大人数の合奏まで経験が出来る機会は杉並でしかできないことと思っています。これから先もどんな形であれこの多くの縁を得たワークショップと繋がりを持たせてほしいと思っています。

指導者の声

福田洋介さん（音楽監督／作編曲家・指揮者）

「杉並ユースウインドオーケストラ」と銘打って2年目。ワークショップの参加者数が歴代を更新し、11月10日の演奏はとても豊かで大きな響きに包まれた素晴らしい音楽として成功を得る事が出来ました。
今回、中学生・高校生たちには「自立した音楽性」を求めました。それはすなわち「自己の確立」の命題でもあります。思春期の彼らにとっては非常にシビアな命題ですが、逞しく挑戦した全員の姿がステージに確かに存在していました。南相馬の中学生やスタッフを含め、子どもと大人の120名を超えるワンチームの絵姿は、文化を豊かに大切にする杉並だから実現できる取組みだったと実感しています。関係者の皆さんの大きな尽力に心より感謝申し上げます。

赤羽聡美さん（ホルン奏者）

この吹奏楽ワークショップの魅力は、上達を肌で感じられることだと思います。限られた練習回数の中でも、上手くいかないところをピックアップして来て、レッスン時に積極的に質問してくれる生徒は驚くほどぐんぐんと伸びて行きます。普段経験しないような大編成での演奏で、緊張する場面もあるかも知れませんが、楽器の技術はもちろん、努力は裏切らないことを学べる素晴らしい企画だと思います。
次回も参加したい！と思える場所にできたら良いなと思っています。

向江平八郎さん（トロンボーン奏者）

たくさんの情報で溢れている現代社会において“生で体験する”という機会はとても大切な事だと感じます。簡単に答えを知ることはいくらでも出来ますが、この企画を通して参加生徒さん達には自らの試行錯誤や努力、勇気をもって挑戦していくことで、いくらでも道は切り拓けるという事を実感して貰えたら嬉しいです。たとえ楽器から離れても“あの時頑張った”と胸を張って言える成功体験として、今後それぞれの人生を歩んで欲しいです。

木村圭太さん（チューバ奏者）

「参加して良かった！」この声が荻窪音楽祭での発表のステージ終演後多くの生徒から聞かれました。自分も講師として参加し、福田洋介先生の思い、ボランティアの方々や杉並区の思い、そして参加してくれた楽器を愛し、楽しんで練習に足を運んでくれた子ども達の情熱を常に感じ、あの素晴らしい舞台で思い出に残る時間を過ごせました。
今回をきっかけに子ども達の音楽を大切にする思いを更に高められるよう杉並区、NPO、ボランティアのみなさんと共に、全力でサポートして行きます。

濱仲陽香さん（打楽器奏者）

講師をさせて頂くようになって3年目となりました。今年一番変化を感じたのは、経験者の存在です。今までは一年だけ参加する生徒も多い中、今年の打楽器パートは7人中3人が昨年からの参加者でした。
早く来て打楽器を運ぶ、休みの生徒の分を代奏する、後輩に指示するなど今までになかった姿を見せてくれました。演奏の方も安定感が増し、和気藹々としながらも頼もしいリズム隊に成長し誇らしかったです。
来年以降の成長も期待すると共に、講師として導けるよう気を引き締めて行きます。いつも笑顔で支えて下さるNPOすぎなみ子どもサポートの皆様に感謝申し上げます。

地域支援者の声

匿名希望（支援者）

初心者も多いのに6日間の練習でここまで成長するとは、子ども達の能力はすごい。これも学校の部活動では出来ない少人数の生徒一人一人に合わせてプロがアドバイスをするという、このワークショップならではの事と感じました。今子ども達は塾だ、稽古事だと忙しいようです。少ない回数ながら密度の濃い練習の機会はとても貴重です。荻窪音楽祭のステージでは昨年よりずっと腕を上げていました。高校生になっても引続き参加できる仕組みとのこと。緩やかな先輩後輩の関係の中で学ぶ事も貢献しているのでしょう。年のせいで現場でのお手伝いは出来ませんが、これからもささやかな支援を続けようと思っています。

匿名希望（支援者）

音楽祭で最後の演奏が終わって立ち上がった時、子ども達は本当に達成感に溢れた、嬉しそうな顔をしました。子ども達にこそこうした贅沢な環境を提供したいですね。プロの音を間近に聴いて生まれる憧れも成長へのエンジンです。杉並に起こったこの先進的なプロジェクトが根付いてほしいと願い、寄付を続けるつもりです。

菅野茂（地域ボランティア・キャストグローバル信託㈱取締役）

区内の中高生が集まって、先ず少人数に分かれてプロ指導者からアドバイスを受けるパート練習。全体練習では演奏曲の作曲者自身が指揮者として登場。各パートに付いたプロの力を借りて紙の上のオタマジャクシ♩が音のカタマリになって行きました。希望者が18人もいたフルートパートでもレベルに関係なくみんなが演奏者となり、フィナーレの荻窪音楽祭のステージでその音を爆発させていました。終了後の9枚の生徒の寄せ書きには「楽しかった」「最高」「嬉しかった」「思い出」の文字が溢れていて、これからも演奏を楽しみに続けられると良いなと感じました。このような区内横断的な活動が民間のNPOを中心に2018年からここ迄大きく発展してきたことは大変な事であり、是非続けて頂きたいと思います。私も猫の手のようなお手伝いですが続けて参ります。

別府一樹（日本フィルハーモニー交響楽団事務長）

2018年「KOYOわくわくレッスン」として指導者1人でスタートした当プロジェクトがコロナ禍を乗り越えて大きく成長を続け、地域に根差した音楽コミュニティとして大きく育ったことを大変嬉しく思います。今年は子ども達の明るく前向きな雰囲気と演奏の立派さに「ここまで来たか」という大きな感慨に浸りました。その背景には「音楽を通じて人と繋がりたい」という子ども達の純粋な気持ちがあることも再認識しました。これからも子ども、地域社会、音楽文化の関係性の良いモデルとして全国に示して行きたいと思います。

※ 頑張ったご褒美として、生徒達は日本フィルから11月24（土）14:00のサントリーホールでの名曲コンサートにご招待頂きました。

菅野武彦（区立済美教育センター学校支援担当・元向陽中学校校長）

6年前、産声は向陽中学校から上がりました。声の主はＮＰＯの前身「KOYOわくわくレッスン実行委員会」。そのテーマは「地域とともに歩む学校」で、最初に採り上げたのが吹奏楽でした。日本フィルのトランペット奏者の中里さんに来て頂き、松ノ木中学校と合同で生徒31人。1回目に3時間の分奏・合奏をし、2回目には多くの生徒・保護者や地域の人々に来て頂き、永福小学校体育館で公開練習と発表会を開催しました。歳月を経て対象は区内全校に拡がり、今回集まった生徒は67人、隔世の感があり、練習のお手伝いに参加してみてその進化振りと全容に圧倒されました。この先進的な取り組みである「ワークショップ」を通じて次世代を担う子ども達に大いに人間賛歌を謳歌して欲しいと願っています。

関わった全ての人に感謝

すべての演奏が終わった後、「来年も一緒に演奏しようね」という声が飛び交いました。
生徒の皆さんは最後の120人の大合奏を体感し、他校・他地方の生徒との交流から程良い緊張と刺激を得て急成長しました。
スタッフも指導者も、明日に向けて常に工夫と改善を続け、「音楽の街杉並」に向けて更に進化して行きます。

杉並ユースウインドオーケストラ

フルート／石井杜季乃、板垣花音、加藤夏恋、金澤麗花、鴨野莉奈、木戸あさひ、小玉悠翔、島田史子、霜鳥燦、関川乃愛、長島愛桜、戸谷理紗子、
畑尾日向子、埴崎花、不破瑞葵、本澤花怜、宮野入咲穂、村川由莉
クラリネット／菊池莉緒、楠愛莉、竹達翔琉、寺岡茉友子、冨塚紗和、濱野すみれ、細田咲弥、大林ゆき
サキソフォン／浅野悠稀、石倉映音、井上佳風、近藤美空、戸谷公紀、福島要、松下翠、宮本絢佳
ホルン／草野友希、高田晃成
トランペット／伊藤寛風、稲葉順正、大塚想太郎、櫻井悠、酒匂希歩、早川董子、前田陽光
トロンボーン／小川和真、木下奏楽、栗原由衣、髙橋風、竹達陽生、田中琴音、前野桜子、森本瑞生、柳澤蒼大
ユーフォニアム／加納里彩、小玉帆七海、酒井麗桜子
テューバ／雨宮頌、濱野巧望、藤木煌也、二見來輝、松本大河
パーカッション／岩本義家、大石郷太、大島務、折間佳歩、嶋田陽奈詩、村山音乃葉、矢嶋かれん

音楽監督・指揮／福田洋介
フルート指導／安藝美雪、山内豊瑞、小林真奈、伊藤玲央
クラリネット指導／平塚美保、橋本奈瑠美、櫻田はるか、三木薫、平石早玲
サキソフォン指導／近田めぐみ、髙橋奈々子、山田寛生、迫間美和
ホルン指導／赤羽聡美
トランペット指導／中里州宏、高浜雄太、溝口大輔
トロンボーン指導／向江平八郎、鶴田陸、吉田英恵、パプロティティアイエフ、小田愛美
ユーフォニアム／黒沢ひろみ
チューバ／木村圭太、石川佳秀、田中優幸
パーカッション／福島喜裕、濱中陽香

スタッフ／鈴木祐二、寺尾恵子、谷原博子、十亀章子、望月隆行、小出勝、藤田あゆみ、菅野茂、高際尚子、
眞渕高史、菅野武彦、雲類鷲孝、原谷裕三、平山真人、矢向高広、唐澤信幸、野口乃愛、下斗米七星、小澤伸子

共演／南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部のみなさん

ワークショップの現場から

杉並区教育委員会･すぎなみ子どもサポート　令和５年度･６年度　協働提案事業

指導者：日本フィルハーモニー交響楽団をはじめとするプロ奏者

プロに学ぶ
吹奏楽ワークショップ

2024 夏秋

1回目 8月20日(火)
13:30～16:30

日本フィルハーモニー交響楽団楽員の中里さんはワークショップの立ち上げから関わっていただいています。6年前参加校2校からスタート、今回は22校67名(高校生を含む)が参加します。

参加生徒：	59名/67名
指導者：	17名
教員見学：	2名（高円寺学園）
杉並区職員:	2名(見学)
教育委員会職員：	4名
地域ボランティア：	7名
NPOスタッフ:	6名

練習会場：杉並区立高円寺学園

日程
- ・8月20日（火）　13：30～16：30　パート練習
- ・9月16日（祝）　10：00～12：00　パート練習
  13：00～16：00　合奏練習
- ・10月6日（日）　13：30～16：30　パート練習
- ・10月20日（日）　10：00～12：00　パート練習
  13：00～16：00　合奏練習
- ・11月4日（祝）　13：30～16：30　合奏練習
- ・11月9日（土）　13：30～16：30　合奏練習
- 11月10日（日）発表「荻窪音楽祭」
  @杉並公会堂

練習曲目
- ・美中の美
- ・吹奏楽のための民話
- ・サウンド・オブ・ミュージックより
  ～福島県南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部との共演～
- ・響きの街へ
- ・ジュピター

子ども　このワークショップは…　大人

自ら考えて動いていく「パートリーダー」制度導入
お互いに声を掛け合い、場を作り出していく

ワークショップ卒業の高校生が運営にも参加
ボランティアとしてもプレーヤーとしても活躍

対話しながら…バージョンアップを目指します

高円寺学園
副園長　下斗米先生

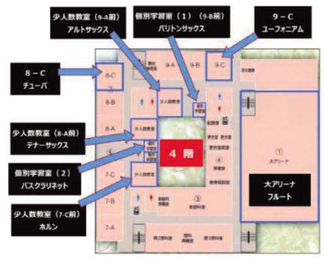
多くのボランティアが支えます

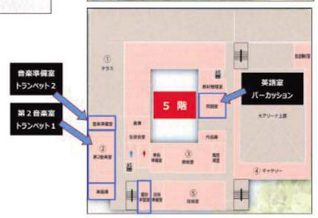
立ったままミーティング

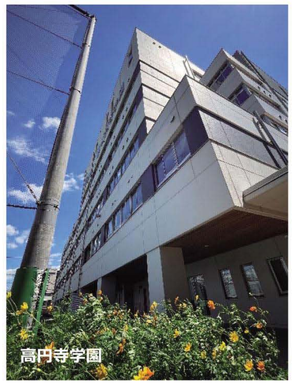
パートをさらに分け個々の課題に応じた練習

第1回　8月20日（火）

8月20日（火）練習の様子
13教室に分かれパート練習







各教室にボランティアを配置
指導者のアドバイスを記述し
欠席者や部活顧問に還元

・基礎をしっかり確認し、効率的な練習法をプロから学ぶ

3時間の練習で疲れた表情を見せながらも、二学期に向けての目標や課題も見出し充実した時間になった様子でした。

文責：NPO法人すぎなみ子どもサポート

ワークショップの現場から

第2回／第3回　9月16日（祝）

杉並区教育委員会･すぎなみ子どもサポート　令和５年度･６年度　協働提案事業

指導者：日本フィルハーモニー交響楽団をはじめとするプロ奏者

プロに学ぶ
吹奏楽ワークショップ

2024 夏秋

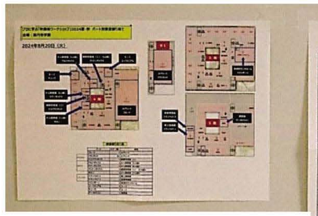
2回目 9月16日(祝)10:00～
3回目　〃　13:00～

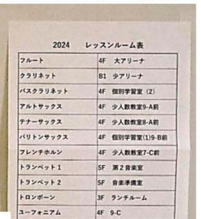
「専門的なことを初心者にどのように伝えたらわかりやすいか、指導しながら私も勉強になるワークショップです」と山田さん。
「**いつもの練習通りに本番も吹けるように**」が目標です。

参加生徒：	57名/67名
指導者：	18名
教員見学：	２名（高円寺学園）
保護者見学：	10名
教育委員会	３名
スタッフ：	14名
荻窪音楽祭関係者	１名
楽器メンテナンス：	１名

練習会場：杉並区立高円寺学園

9:00	スタッフ集合　会場設営	
9:30	参加者受付	
10:00	午前の部　パート練習（3時間）	
11:00		保護者見学会①
12:00	昼食　（参観保護者の皆さんも昼食）	
12:30		NPO、区教委、指導者 保護者の懇談会
13:00	午後の部　合奏練習（3時間）	保護者見学会②
16:00	練習終了　楽器片付け	
16:30	指導者、パートリーダー スタッフミーティング	
17:00	会場撤収	





2024　レッスンルーム表

フルート	4F	大アリーナ
クラリネット	B1	クアリーナ
バスクラリネット	4F	個別学習室（2）
アルトサックス	4F	少人数教室9-A前
テナーサックス	4F	少人数教室8-A前
バリトンサックス	4F	個別学習室(1)9-B前
フレンチホルン	4F	少人数教室7-C前
トランペット１	5F	第２音楽室
トランペット２	5F	音楽準備室
トロンボーン	3F	ランチルーム
ユーフォニアム	4F	9-C
チューバ	4F	8-C
パーカッション	5F	美語室

AM9:00～PM5:00
１日のスケジュールも複雑化。
スタッフの動きや役割を明確にし、事前に共有
スムーズな運営を目指します。

午後の合奏の前に下倉楽器の唐澤信幸さんが来校。楽器の状態を丁寧にチェックし必要な場合は、メンテナンスをしてくださいました。
毎回ワークショップに参加してくださる心強いメンバーです。

中高生の皆さんは勉強や部活、習い事など忙しく日々を送っています。ワークショップ参加の時間を捻出するのも大変な状況です。だからこそ、効率と質の高い練習を両立し一人ひとりが成長を実感できる時間になるようにスケジュールを組み立てていきたいと思っています。

保護者懇談会を開催　意見交換の時間を設けました

運営側

指導者側

【保護者の皆さんより】
・欠席した回について迷惑をかけてしまうのはないかとの意識があります。音源提供などフォローする方法はないでしょうか。
・レベルの高い練習を見て、ワークショップのノウハウを学校の部活にも波及できないかと感じました。
・部活でも今後、地域移行の話題が出るようになってきました。子どもたちのため一緒に考えていけるといいと思いました。
・学校ではあまり見せない、集中して真剣に練習する姿を見ることができ、とても嬉しく良い機会でした。

音楽監督であり指揮を取る福田洋介先生からは、１秒ごとに成長する中学たちの様子や参加すること、体験することで大きな学びがあることが伝えられました。運営側にとっては各校の部活の様子を知り、練習に送り出す保護者の皆さんの想いを感じることができる機会になり、時間が足りないほどでした。また、保護者の皆さんからもお手伝いをしたいとのうれしいお声もいただきました。ご参加いただきありがとうございました。今後の運営に反映していきたいと思っています。

AM パート練習

ウクライナのパブロさんとの出会い

この日、トロンボーンの指導者向江さんのご紹介でウクライナのトロンボーン奏者パブロさんが参加してくださいました。日本で暮らして１年ほど。
兵庫県芸術センター管弦楽団のメンバーとして活動し東京でも活躍場を広げておられます。生徒さんたちは横に並んで演奏し、パブロさんの音色をどのように感じたでしょうか。数回の WS ですが様々な指導者との出会いがあるのも特徴です。

ランチタイム

おしゃべりする時間も大切ですね。交流しながらみんないい笑顔でした。　高円寺学園３Ｆランチルーム

PM 合奏練習

手や足を動かしリズムや感覚を掴む、ハミングしてしゃべるように歌ってみるなど様々な手法で曲のイメージを習得することに時間を費やしました。

立ったままミーティング

プレーヤーとしてパートリーダーとして生徒さんも一緒に練習を振り返り、課題を共有します。

・お昼に楽しい雰囲気で過ごせたことが午後からの合奏で活きてきたと感じました。
・お昼ご飯の時間で先生と色々な話が出来、楽しかったです。
・指導者の指示に対して、教わる側はもっとしっかり反応していきたいと思いました。

みんなで創り上げるワークショップです

文責：NPO 法人すぎなみ子どもサポート

ワークショップの現場から

第4回　１０月6日（日）

杉並区教育委員会･すぎなみ子どもサポート　令和５年度･６年度　協働提案事業

指導者：日本フィルハーモニー交響楽団をはじめとするプロ奏者

プロに学ぶ
吹奏楽ワークショップ

2024 夏秋
4回目 10月6日(日)
13:30～16:30

今年で３回目の参加。今回は２名での練習だけに毎回アドバイスしたことが次にはレベルアップしていることが手に取るようにわかります。吹き手の心に「出したい音がある」を大事に意識して演奏していくといいと思います。

参加生徒：	54 名/67 名
指導者：	17 名
教員見学：	１名（高円寺学園）
教育委員会職員：	３名
地域ボランティア：	7 名
NPO スタッフ：	７名
荻窪音楽祭関係者：	２名

練習会場：杉並区立高円寺学園

練習も中盤へ　　自分たちの音を出していく　パート練習

各パート、音を自分のものにしようとする表情がたくさんありました

本番準備も着々と　　11 月 10 日（日）荻窪音楽祭「みらい夢チャリティーコンサート」のチラシができました。

杉並区と福島県南相馬市は災害時相互援助協定を結んでいます。災害が発生した時だけではなく、このように中学生同士が音楽を通し繋がっていくことはとても大切だと思っています。杉並区を拠点とする日本フィルは、2011 年の東日本大震災後すぐに被災地に音楽を届ける活動を開始し今も変わらずエールを送り続けています。その繋がりから生まれたのが荻窪音楽祭でのコンサートで、ふたつの街の中学生が一緒のステージで演奏をすることになったのです。今の中学生が産まれた頃に発生した東日本大震災は実体験の記憶ではなく記録でしかありません。だからこそ、こうして杉並公会堂の舞台で横に並んで演奏する体験は未来へ繋がる意味を持ちます。

今年、原町第一中学校の吹奏楽部の皆さんはコンサートの前日バスで杉並入します。みんなでお迎えしたいと思っています。こんな交流をしてみたい、こんな時間を過ごしたいなどアイディアがありましたら、事務局までぜひ、お寄せください。

南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部の練習風景

11 月 10 日（日）杉並公会堂大ホール　会場 12：50　開演 13：30

入場無料事前予約制　荻窪音楽祭ウェブサイト、申込みフォームよりお申し込みください

杉並区立井草中学校吹奏楽部紹介　　上井草 3-20-11

ワークショップに参加しているのは７名。複数回参加経験があるメンバーが練習ではリーダーシップを発揮してくれます。合奏練習前には「どう椅子を並べましょうか」といち早く声をかけ、みんなの行動を促してくれる頼もしい存在です。

そこで日頃の部活の様子を取材させていただきました。

部員数：１年 11 名　　２年６名　　３年８名※まもなく引退　計 25 名
練習日：月・火・木・金　隔週土

吹奏楽部顧問　辻香保里先生に伺いました

Q 練習で大切にしていることは？

この４月に井草中に赴任しました。
これから一緒にどう作り上げていくかの段階です。
まもなく３年生が引退を迎え新体制になり徐々にみえてくるかと思っています。

B'z の「Ultra soul」合奏練習中でした

Q どんな吹奏楽部ですか？

先輩後輩がとても仲が良い部活だと思っています。
３年生引退を前にして今、２年生がよく後輩を引き上げてくれています。

Q プロに学ぶ吹奏楽ワークショップについて

部活の指導では及ばない部分を補っていただいているところは大きいと思います。
特に基礎の部分をしっかり指導してもらえていると感じています。
一方で学校吹奏楽部の練習曲とワークショップ練習曲と両方をこなすための時間が大変なのかなと感じることもあります。

10 月 19 日は杉並公会堂で合奏コンクールがあり吹奏楽部の演奏も予定されています。本番に向け、部員全員気持ちを合わせ練習していました。

フルートパートでは廊下で先輩が後輩に丁寧にアドバイスしていました。

文責：NPO 法人すぎなみ子どもサポート

ワークショップの現場から

第5回／第6回　１０月２０日（日）

杉並区教育委員会･すぎなみ子どもサポート　令和５年度･６年度　協働提案事業　　指導者：日本フィルハーモニー交響楽団楽員をはじめとするプロ奏者

プロに学ぶ
吹奏楽ワークショップ

2024 夏秋
5 回目 10 月 20 日(日)10:00～
6 回目　〃　14:00～

日本フィルハーモニー交響楽団楽員として世界各国で長く演奏活動をしてこられました。ワークショップには毎年参加いただいています。指導はもとより、生徒たちに音を伝えるためのトーク力がとても魅力です！

参加生徒：58 名/67 名　指導者：　17 名
教員見学：３名　教育委員会職員：５名
地域ボランティア ：8 名
NPO スタッフ：６名
保護者見学：６名　その他見学：２名
小学生見学（保護者含む）：36 名
楽器メンテナンス：１名
荻窪音楽祭関係者：１名
会場：高円寺学園

全力疾奏！～みんなで奏でる最響のサウンド～

部員数 38 名

原町一中演奏曲目
・行進曲「勇気の旗を揚げて」
（2024 年吹奏楽コンクール課題曲）
・バレエ音楽「青銅の騎士」より
・アラジン・メドレー

杉並と合同演奏
・ジュピター～組曲「惑星」より
・響きの街へ

♪　**顧問：鈴木淳子先生より**
きょうは福田先生にご指導いただきました。作曲した方に直接レッスンしていただくことはなかなかある事ではなく、幸せなことです。杉並の皆さんは福田先生と一緒に音楽を創ろうとしているのを感じるので、杉並へ演奏に行くと、とても刺激を受けます。人数も増えて、年々スキルも上がっているので楽しみにしています。

♪　**吹奏楽部長：伊藤結さん　　副部長：坂本幸さんより**
初心者が多いのですが、本番では頑張っている１，２年生に注目してほしいです。一体となって演奏する原町一中サウンドを楽しんでほしいです。

原町一中出身　クラリネットの指導者　橋本奈瑠美さん
橋本さんが入学したのは 2014 年。南相馬市は津波や原発の影響がまだ続いており吹奏楽部の活動も影響を受けていました。震災後すぐから、日本フィルは音楽の力で被災地の応援をしていました。橋本さんも中学２年の時にクラリネットの指導を受けたことをよく覚えているそうです。そのつながりから荻窪音楽祭での演奏も経験しました。橋本さんはその後東京へ、音大付属校へ進み東京音楽大学を卒業し、今度は杉並の中学校吹奏楽部を応援してくれています。

大型楽器の貸し出し調整や調達。
この日は福島先生にも同行いただき運搬しました。

校庭ではサッカーの試合開催。他団体も施設利用するため高円寺学園の下斗米副園長が参加者誘導のためのルートをあらかじめ確保する準備をしてくださいました。

午前：パート練習

アンサンブルの練習も

地域ボランティアとして運営に関わりながら
プレーヤーとして参加

保護者の皆さんと意見交換

今後の運営に
活かしていきます。

中学校教員

和泉学園中明石先生
天沼中吹奏楽部顧問岡本先生

合奏の様子をみながら生徒たちの成長を見守ります。

「ドレミの歌」を合奏に合わせて歌ってくれました

午後：合奏練習

初の試みで小学生見学会を開催、19 名が参加してくれました。
クラブ活動で担当している楽器がある小学生は、プロのそばで音を聞きました。
「合奏がとても迫力がありました」「プロの人とお話ができ楽しかったです。」と
キラキラとした目で感想を話してくれました。

パートリーダーとして大人の輪に加わる生徒たち

たくさんの関わりのなかで、みんなで一緒に創り上げるワークショップです。

文責：NPO 法人すぎなみ子どもサポート

ワークショップの現場から

第7回　１１月4日（祝）

杉並区教育委員会･すぎなみ子どもサポート　令和５年度･６年度　協働提案事業　　指導者：日本フィルハーモニー交響楽団楽員をはじめとするプロ奏者

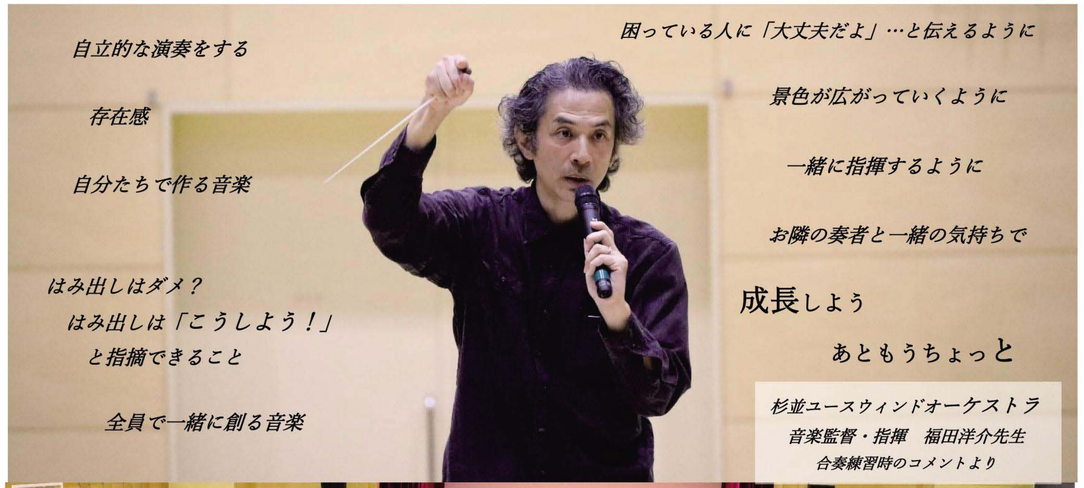
プロに学ぶ
吹奏楽ワークショップ

2024 夏秋

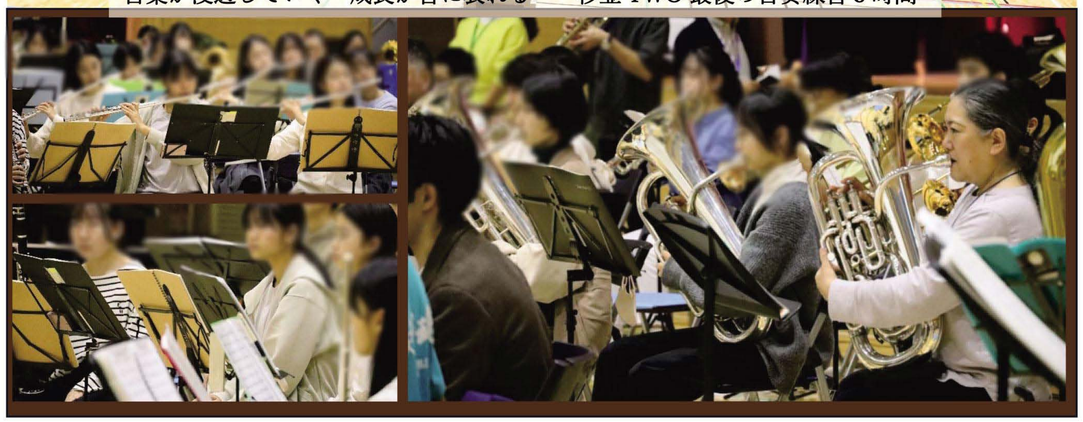
7回目 11月4 日(祝)
13:30～16:30

日本フィルハーモニー交響楽団楽員としての豊富な経験から、工夫を凝らした指導でぐんぐん生徒の力を引き出してくださっています。趣味はスポーツカー(トヨタ86)でのカーレース、とてもアクティブな先生です。

参加生徒：	55 名/67 名
指導者：	16 名
教員見学：	１名（高円寺学園）
教育委員会見学：	３名
教育委員会職員：	３名
地域ボランティア：	6 名
NPO スタッフ：	８名
荻窪音楽祭関係者：	１名
楽器メンテナンス	１名



言葉が浸透していく　成長が音に表れる　　杉並 YWO 最後の合奏練習 3 時間



杉並区教育委員会　渋谷正宏教育長

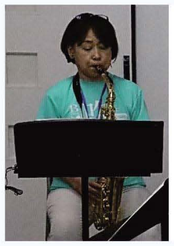
みんなにエール！

杉並区教育委員会の渋谷教育長
学校整備・支援担当の高山部長
学校支援課の中曽根課長がワークショップを見学。
学校も学年も違う生徒たちが集まり演奏する様子を
ご覧になり、本番へ向けエールを送ってくださいました。

「音楽が好きな仲間が集まり
ひとつになるチーム力と
迫力ある合奏に
圧倒されました。」

教育現場を知る教員が支えるワークショップ

元天沼中学校副校長　高際尚子さん



サックスのプレーヤーとして生徒と並んで練習に参加しています。中学生たちがより充足感が得られるようにするには、何をどう準備したらよいかなど、教員だったからわかる部分もあります。運営に少しでもお役に立てればと思っています。

元向陽中学校長　眞淵高史さん

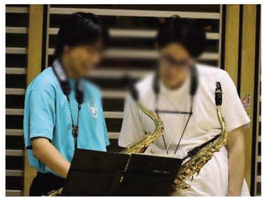
このレポートに掲載する写真撮影を担当しています。校長時代も生徒たちの活動をよく撮影していました。きょうの撮影のテーマは、生徒の真剣な目です。どの生徒もいい目をしていました。

元向陽中学校長　菅野武彦さん

きょうは、福田先生の発する言葉を記録する担当をしました。
（国語が専門です）
指導の言葉から次の音がすぐに変化していくことに驚きました。成長が感じられました。本番がとても楽しみです。

本番に向けて

本番を意識して練習すればするほど課題がみえてきます。
福田先生からも、いつもより厳しい言葉がありましたが、本番を前にした緊張感が伝わりました。ここまで頑張ったからにはいい演奏会にしたいと積極的に指導者にアドバイスを求める姿がありました。



会場校：高円寺学園
お世話になりました

東西に長い杉並区で生徒たちが楽器を持って参加しやすい会場は限定されます。また、パート練習では個別の部屋が複数必要となるため、練習会場の確保は簡単ではありません。そんな中、７回も使用させていただきました。恵まれた練習会場で効率よく練習をすることができました。心より感謝申し上げます。

毎回練習に立ち合い、活動を見守ってくださった下斗米副学園長

本番で着用するＴシャツも配布

文責：NPO 法人すぎなみ子どもサポート

ワークショップの現場から

第8回　１１月9日（土）

杉並区教育委員会･すぎなみ子どもサポート　令和５年度･６年度　協働提案事業　　指導者：日本フィルハーモニー交響楽団楽員をはじめとするプロ奏者

プロに学ぶ
吹奏楽ワークショップ

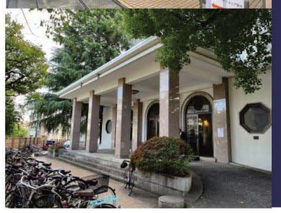
2024 夏秋

8回目 11 月9日(土)
13:30～16:30

東京音大で学んだ後、インディアナ音大修士課程を修了。大田区でも JHS ウィンドオーケストラで指導をさており、しっかり基礎を教えてくださいます。

参加生徒：	53 名/67 名
指導者：	17 名
教育委員会職員：	１名
地域ボランティア：	５名
NPO スタッフ：	７名
荻窪音楽祭関係者：	２名
原町一中生徒・関係者	44 名
楽器メンテナンス	１名

練習会場：東京立正学園講堂



東京立正学園講堂をお借りしてリハーサルを行いました。（杉並区堀ノ内）

木漏れ日の学園、重厚な講堂で原町一中の生徒さんたちとのリハーサルです。打楽器や譜面台、椅子等の備品も学園からお借りいたしました。在校生の皆さんにもご協力をただきました。
会場をご提供いただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

13:30～杉並 YWO 練習
15:30～合同練習
16:30～原町一中練習

14:00　福島県南相馬市立原町第一中学校　到着

吹奏楽部員　36 名　　教員･保護者など 8 名

朝 8:00 にバスで出発し 5 時間ほどかけて到着しました。先週もコンクール出場のため上京しており 2 週続けての遠征です。

合奏練習の前にちょっとブレイク

伝言ゲームで交流タイム

「去年も一緒だったね！久しぶり」と生徒同士で再会を喜ぶ様子も見られました。

さぁ、心を合わせて
- **「ジュピター」**
- **「響きの街へ」の練習**

100名を超える人数のため、客席も使っての対面演奏です。こんなに多くで演奏するのは初めてで、隣の人の音をしっかり聞き明日の本番へ向けて気持ちを作っていきました。

ずらりと並ぶと圧巻ですが、入れ替わりをするのがやっとで工夫が必要です。本番のステージでもパート割りや並び順、楽器の位置など指導者の皆さんの意見を伺いながらギリギリまで調整確認が続いています。

プロに学び自分で考える　　参加生徒さんの声　アンケートより　（1～５回目　10/20 回収）

・今まではフォルテなどを意識して吹こうとするとただ息をたくさん入れて吹くという感じでしたが、先生方に**息をたくさん入れるのではなく「音の響きを豊かにする感じで」**と言われ、やってみると今までと自分の音色が全然変わってとても驚きました。

・中３になったことで、部活を引退し受験生になり、練習する時間があまりない中今年も参加したのは、高校生になったらトロンボーンができるかわからなく、前回初めて参加したときすごく楽しくて、もしかしたらトロンボーンでワークショップに参加できる最後の機会かもしれないという想いで入りました。 **こんなにワークショップに参加しているのに「飽きた」という感情は１回もでてきたことはありません。**残り数少ないワークショップを全力で楽しみたいと思います。

・杉並区中の中学生が楽器という共通点だけで集まって1つの合奏をできることが、こんなにすごいものだと思いませんでした。同学年の人だけでなく、 上級生の方々の音色を聞いて部活動だけでは学びきれない経験になったと思います。プロの具体的なイメージがわかなくて、**自分の吹く楽器で職に就く人なんて雲の上の話だったけれど、ワークショップに参加してきちんとプロに向きあえました。**ネットや本では分からないコツとかノウハウを間近で見て学べて、音色自体が参加前よりぐっと伸びた感じがしています。

・初めて参加して吹けるようになるか不安だったものの、先生や先輩に丁寧に教えてもらえました。特に**隣の高校生にアドヴァイスをもらえたというのが非常に大きかったです**。大人数でいっしょになって演奏することの楽しさを体験できました。私の学校には吹奏楽部がなく、いつもレッスンでフルートを習っているので、こんなにたくさんの人で演奏することはないので、よい経験になりました。

・今回、初めてワークショップに来て、今まで知らなかった基礎的なことを知ることができました。曲によっては自分の技術ではできない所もありましたが初見から出来る所も増え、吹ける所は全力で吹けるようになりました。**今回のワークショップを生かして、部活でも活動していきたいです。**

・最初は自分の音に自信がなく、芯のない音しか出せませんでした。タンギングもしょっちゅう忘れてしまったりと、しまりのない演奏だったけれど、**だんだんと周りの元気のよいハキハキした音に感化され、自分ももっと楽しく音楽に乗ろうと思うことができました。**スタッカートとアクセントに気を配りつつ演奏することで、三か月前の自分よりも一回り成長できた気がします

・午後からの飛び入り参加でしたが、多くのことを学べ、昼食中には先生たちとトランペットについて話せましたし、吹奏楽や楽器の楽しさを思い出していました。　本番に向けてしっかり練習し、**中3という中学生最後の音楽祭のステージを後悔のないよう頑張りたいです。**

・ワークショップに来る前は、自分の課題があいまいだったが、上手な人の演奏を聞くことでシンバルのたたき方、また、スネアのまとまりを聞いて工夫の仕方が分かった。

・大人数の合奏ではどれだけ自分の音を強く出せるかが重要だと学んだ。
人の音を聞いて自分がどのような音を出せばいいか考えることの重要性をあらためて感じた。

文責：NPO 法人すぎなみ子どもサポート

荻窪音楽祭

１１月１０日（日）

2024　11・10（日）
@杉並公会堂
杉並区の中高生　64 名
南相馬市立原町一中学校
吹奏楽部　36 名
指揮・指導者　18 名が演奏

杉並ユースウィンドオーケストラ
＋
南相馬市立原町第一中学吹奏楽部

１００名の合奏体験

・杉並 YWO の演奏
・原町一中吹奏楽部の演奏
（休憩）
・合同演奏　　全 8 曲

指揮・音楽監督
福田洋介さん

Challenge

ここまでの歩みを演奏で、言葉で、自分たちらしく表現することへ

フルートアンサンブル

金管アンサンブル

「開演前にアンサンブルの演奏でやってみよう」と初めての試みでした。来年はさらに生徒主体で色々なアイディアが生まれそうです。

自信を持って MC をする中学生たち
一緒に練習してきたからこそ発せられる生徒たちの言葉は、輝いていました。成長した姿を力強くみせてくれました。

取材にもしっかり対応

MIRAIYUME CHARITY CONCERT 2024
HARAMACHI-1 J.H.S.
SUGINAMI Y.W.O.
OGIKUBO MUSIC FESTIVAL

コロナ禍中止をしていた交流会が復活、吹奏楽でつながる生徒たち　@杉並公会堂グランサロン

南相馬市
大和田博行教育長

南相馬市立原町一中
吹奏楽部顧問
鈴木淳子先生

杉並ＹＷＯ
音楽監督・指揮
福田洋介先生

杉並区
渋谷正宏行教育長

交流会にご参加いただき、生徒たちにエールを送ってくださいました。ありがとうございました。

♫　ワークショップを終えての感想　アンケートより　♫

生徒の声：トランペット
アンサンブルや今までと違った曲で荻窪音楽祭を迎え、新たなスタートを切った気がしました。中 1 から毎年参加させていただいて年々素晴らしくなっていく杉並 YWO が私にとって大事な場所になり始めているのを肌で感じました。来年からは高校生としてお世話になった分、今度は返す側になりたいと思いました。

生徒の声：フルート
2 年ぶりのワークショップ参加させていただきました。まず最初に 2 年ぶりの友達に会えたことが嬉しかったです。中学生も高校生も一緒に吹けるところがすごく良いところだと思います。

保護者の声：サックス
この取り組みで一番良いなと感じている所は同世代の他校の生徒達が一緒にやる所です。
普段学校も違う為本来であれば一緒に演奏する機会はない子ども達が「音楽」が繋がりを作り一緒に過ごします。
そして子ども達同士で刺激しあって「もっとうまくなりたい」「あの子に負けたくない」だったり、成長が促されます。

保護者の声：ユーフォニアム
昨年に引き続き 2 回目の参加です。昨年と同じメンバーで黒沢先生に大変楽しくユーフォニアムを教えていただき感謝しております。
ワークショップを通じて音楽の素晴らしさや大勢で演奏することの面白さを知ることができたと思います。

プロに学ぶ吹奏楽ワークショップ 2024 夏秋編

8 月 20 日～11 月 10 日全 8 回

参加生徒数延べ 505 名　指導者数延べ 152 名　運営関係者数延べ 159 名

支えていただいた学校教職員の皆様、保護者、見学いただいた小学生を合わせると　**総延べ数 902 名のプロジェクト**

たくさんのご支援ありがとうございました。

文責：NPO 法人すぎなみ子どもサポート

春のワークショップ／春休み特別レッスン

4月2日（火）

杉並区教育委員会･すぎなみ子どもサポート　令和５年度･６年度　協働提案事業事業

指導者：日本フィルハーモニー交響楽団をはじめとするプロ奏者

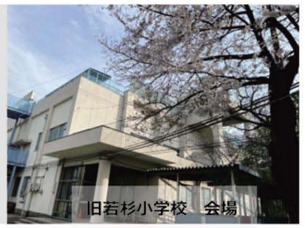
天沼中学校　会場

プロに学ぶ
吹奏楽ワークショップ

2024
春休み特別レッスン

協働提案事業２年目　2024 年４月２日実施

春のワークショップ、昨年とココが違います↓


旧若杉小学校　会場

取り組みを ブラッシュアップ しながら

質の バージョンアップ を目指します

活躍する高校生たち

- ワークショップを経験した中学生が高校生となり、運営を支えるボランティアへとして始動。
- 昨年は午後から２日間実施した日程を、この春は午前午後通しで、１日で行ってみた。
- 昼食を一緒に取りながら参加者同士がコミュニケーションを図る時間を確保した。
- 年度初めで会場確保が難航、協働事業者間で協議し人員配置を工夫しながら会場を分けて実施。
- 大人のみで行っていた振り返りの会にパートリーダーとして中高生が参加、レッスンを受ける側からも意見を拾い事業改善へ務めると共に、生徒の自主性を促す。

休憩中

「参加者同士で話しをする機会を」は、いつも課題として上がっていました。
まだ同じ学校で集まる傾向でしたが、秋頃にはたくさん会話が増えるといいなと。会場の外は、いつもより遅く桜が見頃を迎えていました。指導者・スタッフの皆さんには気分だけ、お花見弁当を味わっていただいました。

終了後の振り返り

指導者、スタッフのみで練習の様子を共有していましたが、今回参加者の立場で中・高生が参加しました。パートごとの練習環境や時間について改善につながる意見を積極的に出してくれました。

パートリーダーの中高生が堂々と発言

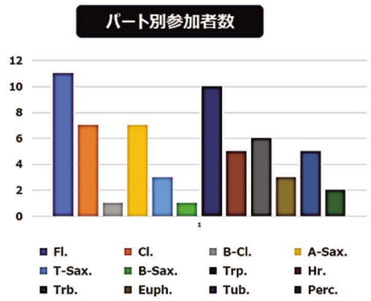
２月　大田区の取り組みを視察

大田区では中学校の課外活動の支援を見据え、教育委員会との共催で学校の枠を超え吹奏楽部の練習が行われています。２月４日、NPO のメンバーで大森十中の練習会場を訪れ、取り組みを視察しました。この日は、日曜日で昼食を持参して午前午後の練習でした。今回その効果や時程も参考にしました。今後も視察や好事例の情報を収集しながら運営にあたってまいります。

春の特別レッスン 2024　参加者数　61 名　（昨年度 39 名）

Fl.	11
Cl.	7
B-Cl.	1
A-Sax.	7
T-Sax.	3
B-Sax.	1
Trp.	10
Hr.	5
Trb.	6
Euph.	3
Tub.	5
Perc.	2
参加者計	61

内訳：　区立中学生　42 名
私立中学生　8 名
高 校 生　11 名



杉並区立中学　参加校 9 校　42 名

		中1	中２	中3	計
1	阿佐ヶ谷中学校		1	2	3
2	天沼中学校		3	6	9
3	井荻中学校		3	6	9
4	井草中学校		4	2	6
5	高円寺中学校		3		3
6	向陽中学校		1		1
7	神明中学校		1	1	2
8	西宮中学校		1	1	2
9	宮前中学校		4	3	7
	計		21	21	42

AM10:00～PM4:00（昼食含む）パート練習
徹底的に基礎を再確認・基本に立ち戻る

フルートのパート練習

左右足の重心移動を意識し、楽器の構え方からチェックするなど身体の使い方を確認。自分がナチュラルでいられるポジションを見つけていきます。

年度初めに楽器の点検や必要に応じ修理をお願いしました。２つの会場を巡回していただき、５件の修理をしていただきました。部員数の減少等により使用されなくなった楽器は保管状態が万全ではありません。唐澤さんは持参した道具で修理しながら「少しでもよい状態で使ってもらえることに、張り合いを感じています」と話していました。

下倉楽器店　唐澤信幸さん

文責：NPO 法人すぎなみ子どもサポート

冬のワークショップ／冬休み特別レッスン

１２月２２日（日）

杉並区教育委員会･すぎなみ子どもサポート　令和５年度･６年度　協働提案事業

指導者：日本フィルハーモニー交響楽員をはじめとするプロ奏者

プロに学ぶ

吹奏楽ワークショップ

2024 冬

12月22日(日)
午前 10:00～12:00
午後 13:00～16:00

向江さんは杉並区立中学校の出身で、武蔵野音楽大学を経てプロになりました。初期の頃からワークショップの指導に当たっていただいています。イメージしやすい言葉でわかりやすく教えてくださいます。

参加生徒：	48 名
指導者：	15 名
教員見学：	１名（高円寺学園）
教育委員会職員：	４名
地域ボランティア：	８名
NPO スタッフ：	６名
保護者見学会参加：	８名

練習会場：杉並区立高円寺学園

2018 年に杉並区で最初に WS を開催した時からずっと指導者として子どもたちを応援してくださっているのが日本フィルハーモニー交響楽団楽員・トランペット奏者の中里州宏さんです。「ここに集まった学校も違う仲間と一緒に、まずは演奏が楽しいと思えるような時間にしてください」とあいさつ、パートに分かれての練習のスタートです！

初めて「吹奏楽ワークショップ冬編」を開催しました

11 月の荻窪音楽祭のステージから 1 か月、次のサイクルへつなげるための WS で参加 **48** 名のうち **27** 名が初参加です。荻窪音楽祭で演奏する中学 3 年の先輩に刺激を受けて参加した生徒さんや基礎を教えてほしいと参加した生徒さんも多く中学 1 年の参加は **19** 名です。パートごとに個々のレベルに対応するため指導者を配置し、忙しい年末にもかかわらず **15** 名の指導者が集結してくださいました。

・参加してよかった点　　生徒のアンケートより…

冬場の楽器の取り扱い方、タンギングのコツ、演奏の指導など
楽器の温め方などの新しい知識を知れたこと。

午前中は中 1 とそれ以外に分かれて姿勢や呼吸法など基礎の練習、午後は全員で曲の練習ができたこと。

初対面の人と合奏ができる体験ということがなかなかできない貴重なものなので、体験できたこと。

パートごとにアイスブレイクを取り入れながらスタート

トランペット
溝口大輔さん

トロンボーン
吉田英恵さん

ホルン
赤羽聡美さん

ユーフォニアム
黒沢ひろみさん

チューバ
木村圭太さん

サックス
山田寛生さん
高橋奈々子さん

フルート
小林真奈さん
伊藤玲央さん

プロから学ぶ

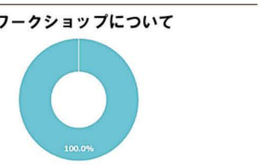
パーカッション
濱仲陽香さん
福島喜裕さん

クラリネット
平石早玲さん
橋本奈瑠美さん

ワークショップでは

多くの中学校で 3 年生が引退し新体制での部活動が始動し、「楽器によっては教えてくれる先輩がいない」「学校以外に練習の場がない」などの声もあります。ワークショップでは「ずっと音楽をやりたい気持ち」を大事にしていきたと思っています。生徒さんや保護者の皆さんの声と指導者の意見を参考しながら地域の中でやれることを一緒に考えていきます。そのためにアンケートを重視しています。

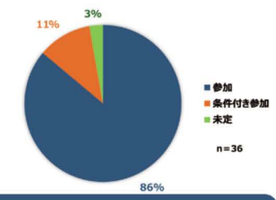
アンケートに回答いただいた方（保護者を含む）１００％が満足



満足	36（100.0%）
やや満足	0
やや不満	0
不満	0

今後のワークショップへの参加については、36名中1名が未定、他は条件付きも含め参加したいと回答

分類	主な回答	回答者数
参加	・参加したい ・是非参加したい	31
条件付き参加	・都合が合えば ・参加したいとは思う ・親としては参加してほしい	4
未定	・現時点ではわからない	1



ランチタイムの様子

**みんなで創るワークショップです。
アンケートへのご協力をよろしくお願いします。**

合奏をやってみよう

ワークショップの音楽監督で指揮者の福田洋介さんからクリスマスソングの練習用楽譜が届いていました。各パートで練習しましたが、「せっかくなので合奏を」と最後に大アリーナに集まりました。たった１日の練習でも大勢で合奏できたことがとてもよい体験となり見学参加した保護者からも拍手が送られました。

教育委員会の皆さんがパーカッションで参加

初参加した保護者の声

・たまたまテトルに配信されたので、こういうのがあるって初めて知りました。

・１年生から中学吹奏楽部に入って今、部員は 17 人ぐらいです。なので、多分こんな大人数で 演奏した経験がなくすごく貴重で、個別に教えていただくこともなかったのでとても良い機会だなと思いました。

・うちの子の学校も部員が少なく、３年生が引退したら自分の娘１人しかトランペットいなくて、やっぱりこういうところで指導を受けることで、伸びていく様子を見ることができました。

ワークショップでは他校の生徒さんと並んでプロの指導者の音を聞きながら一緒に合奏ができることが特徴です。

文責：NPO 法人すぎなみ子どもサポート

2025年3月発行